

# 令和6年度 福岡県公民館実践交流会 開催要項

※公民館（市民センター・コミュニティセンター等を含む）

## 1 趣 旨

近年、少子・高齢化、都市化・過疎化の進行とともに、society5.0時代の到来など、生活様式や価値観の多様化等、社会情勢が急激に変化しています。その結果、地域の担い手不足や人間関係の希薄化などが懸念され、いかにして持続可能で活力ある社会を構築していくかが問われています。

そのような中、福岡県公民館連合会では、8月の福岡県公民館大会において、「地域住民がウェルビーイングを実現できる公民館を目指して！」をテーマに事例発表や講演を行い、学びを深めてきました。本実践交流会では、こうした学びを実践に結び付けるために、公民館・コミュニティ施設等の関係者が、各地域における実践活動の成果や課題について互いに情報交流を深め、今後の公民館等の活動を一層充実させることを目指します。

## 2 主 催

福岡県公民館連合会、福岡県教育委員会

## 3 後 援

宗像市、宗像市教育委員会

## 4 期 日

令和7年1月24日（金）

## 5 会 場

宗像ユリックス（イベントホールほか3会場）

宗像市久原400 TEL 0940-37-1311

## 6 対象者

公立公民館職員、自治（町内）公民館関係者、市民センター施設関係者、コミュニティ施設関係者  
公民館運営審議会等委員、社会教育委員、社会教育関係団体、市町村生涯学習・社会教育関係職員  
社会教育実践活動に関心のある者

## 7 日 程

12:30～13:00	受付
13:00～13:25	開会行事・表彰
13:25～13:35	説明
13:45～14:30	公民館活動実践発表①【実践発表20分 質疑20分 総括3分】
14:40～15:25	公民館活動実践発表②【実践発表20分 質疑20分 総括3分】
15:25～15:30	諸連絡、閉会（各分科会会場）

## 8 申込方法

別紙「参加申込書」をメールにて提出

※実施要項及び参加申込書は福岡県公民館連合会のホームページでダウンロードできます。

福岡県公民館連合会 HP <https://www.fukuokaken-kominkan.jp/>

## 9 その他

(1) 手話通訳、要約筆記について、必要の有無を参加申込書に御記入ください。

(2) 駐車場については後日御案内いたします。

(3) 情報提供用資料がある場合は、参加申込書に必要事項を御記入ください。

※情報提供用資料とは、県全域に周知したい公民館活動に関わる資料のこと（広報誌、作品等）

(4) 受付は市町村ごとに取りまとめて、代表者1名が行ってください。

## 10 分科会

実践発表①(13:45～) ※分科会場は後日決定の上、お知らせします。

地区	タイトル/概要	所属・役職名・氏名
<b>A</b> 北九州市 <市民センター> 【ボランティア活動】	誰ひとりお客様で終わらないサロン活動 ～健康寿命の向上と高齢者の自立と自律をめざして～	西門司市民センター 館長 林崎 康子 氏
	役員による企画運営や、会員で受付・会場設営を輪番制にするなど、誰一人取り残さず皆がボランティアとなるサロン（学び）の活動。	
<b>B</b> 北筑後地区 <自治公民館> 【家庭教育】	地域愛あふれる子どもたちを地域全体で育む 取組を通して ～「はぐみ」一枚の葉から大きな花へ～	筑前町四三嶋区 元民生委員 岡部 由美子 氏
	住民の健康増進のために行っている「ラジオ体操」の取組を通じた、生活習慣づくりや多世代交流等の成果について発表を行う。	
<b>C</b> 南筑後地区 <コミュニティセンター> 【団体育成・サークル活動】	校区コミュニティの学びと実践 ～地域のつながりによる大莞校区のコミュニティ活動の実践～	大木町ふるさと大莞活性化 委員会 会長 東 一人 氏
	地域のつながり（世代間の融合、各種団体の協力）による大莞校区のコミュニティ活動の実践	
<b>D</b> 京築地区 <公立公民館> 【人権教育】	社会人権教育・啓発の取組 ～より多くの人に広める啓発活動の工夫～	上毛町教育委員会 教務課社会教育係 係長 穴田 大介 氏
	人権教育や啓発について、より多くの人々へ広げるため、地域の学習拠点である公民館を活用した取組の実際。	

実践発表②(14:40～) ※分科会場は後日決定の上、お知らせします。

地区	タイトル/概要	所属・役職名・氏名
<b>E</b> 筑豊地区 <コミュニティセンター> 【学社連携・融合】	飯塚市熟年者マナビ塾の取り組み ～児童の健全育成、学校活性化、特色ある学校づくりに資する～	飯塚市教育委員会 教育部 生涯学習課 生涯学習係 係長 杉内 郷 氏
	熟年者マナビ塾は、60歳以上の市民を対象とし、小学校の空き教室を活用して、学校の授業時間に合わせて、お互いに教え学び合う自主学習講座である。事業の導入背景、経緯、現状と課題を発表する。	
<b>F</b> 福岡市 <公立公民館> 【青少年教育】	赤坂元気プロジェクト ～子どもの体と心を「食」で応援～	福岡市中央区 赤坂公民館 館長 鮎川 清 氏 主事 中村 留美子 氏
	子ども達の健やかな成長を願い、「食」をテーマに地域や学校と協同し、未来ある青少年への応援プロジェクトを実施している。	
<b>G</b> 福岡地区 <公立公民館> 【高齢者教育】	より一層心豊かで充実した人生を送ってもらうため ～まほろば市民大学 専門講座・教養講座～	太宰府市教育委員会 教育部文化学習課 係長 茂田 和紀 氏
	この大学は、「専門講座」で興味を持つ分野の基礎基本を学ぶとともに「教養講座」でさまざまな教養を高め、自らの学びへ繋ぐものである。	
<b>H</b> 北九州地区 <自治公民館> 【自治公民館活動】	芦屋町自治公民館活動による地域の健康づくり	芦屋町教育委員会 生涯学習課 公民館・文化係 係長 尼ヶ塚 武 氏
	自治公民館は地域行事やサロン活動などに利用されている。芦屋町の30の自治区のうち、大城区の公民館活動について紹介する。	

※発表内容は10月末現在のものであり、変更となる可能性があります。なお、変更があった場合は適宜、福岡県公民館連合会ホームページに掲載いたします。